

問1 日本の司法制度改革の一環として導入された、一般の国民が重大な刑事裁判の審理に参加する制度について、その仕組みを正しく説明しているものはどれですか。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)

1. 裁判官とは別の部屋で国民のみが話し合い、有罪が無罪かの判断のみを行い、刑罰の内容は裁判官に一任する。
2. 裁判官と共に「評議」を行い、有罪が無罪かの判断だけでなく、有罪の場合の具体的な刑罰の内容まで決定する。
3. 裁判の審理には直接加わらず、検察官が容疑者を起訴しなかった判断が妥当であったかを審査する。
4. 刑事裁判だけでなく民事裁判にも参加し、裁判官に対して国民の感情面からのアドバイスを行う役割を担う。

問2 日本の国会において、予算の議決や条約の承認などの際に、衆議院と参議院の議決が一致しなかった場合、両院の意見を調整するために設けられる会議の名称を答えなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)

1. 常任委員会
2. 両院協議会
3. 閣議
4. 公聴会

問3 最高裁判所が「憲法の番人」としての役割を果たす上で、その仕組みについて説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)

1. 国民の基本的人権を守るため、憲法に違反する法律を見つけた場合には、裁判所が自ら新しい法律を起草する権限を持っている。
2. 内閣が憲法に違反する政治を行った場合に、裁判官の判断のみで内閣を総辞職させる権限を持っている。
3. 国会が法律を制定する前に、その内容が憲法に違反していないかを事前に審査し、承認を与える権限を持っている。
4. 一切の法律、命令、規則、処分が憲法に適合するかどうかを決定する、終審裁判所としての権限を持っている。

問4 日本国憲法第41条において、国会が「国の唯一の立法機関である」と規定されていることの原則的な意味として、最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 高知県公立入試 類似)

1. 国会だけが、憲法を改正するための最終的な決定権を単独で持っているという原則。
2. 国会による立法以外の方法では、原則として法律を制定することができないという原則。
3. 国会が制定した法律の内容については、最高裁判所であっても違憲審査を行うことができないという原則。
4. 国会が制定した法律は、内閣が定める政令や裁判所の規則よりも必ず優先されるという原則。

問5 日本の司法制度において、三審制に基づき第一審から第二審へと裁判を継続させる「控訴」という仕組みが認められている最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 山形県公立入試 類似)

1. 裁判官の負担を軽減するために、一つの事件に関わる裁判所の数を増やして審理を分担させるため
2. 裁判の審理を慎重に行うことで、事実の誤認や法の適用の誤りを防ぎ、人権を保障するため
3. 警察による捜査をやり直すための十分な時間を確保し、検察側が有利になるよう配慮するため
4. 第一審の結果を国民投票にかけ、民意を直接裁判の結果に反映させる機会を設けるため

問6 国会での法律案の審議プロセスにおいて、各議院における一般的な流れを説明したものとして最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)

1. まず本会議で法律案の可否を決定し、可決されたものについてのみ委員会で具体的な条文を修正する。
2. 法律案はまず公聴会で国民の投票にかけ、その後委員会を通さず本会議で議決する。
3. 議長から付託された法律案を、まず委員会で専門的に審議し、その結果をもとに本会議で採決する。
4. すべての法律案はまず内閣で成立させ、委員会や本会議は国民への説明の場としてのみ機能する。

問7 内閣がその職務を行う際、内閣総理大臣と国務大臣が参加する意思決定の仕組みについて、正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)

1. 内閣総理大臣と国務大臣による合議体であり、慣習として全員一致で決定される
2. 国会の指名を受けた後、裁判官弾劾裁判所による審査と承認を得て決定される
3. 国務大臣の過半数が反対した場合でも、内閣総理大臣の独断で決定を下すことができる
4. 閣僚のうち衆議院議員のみで構成され、出席者の3分の2以上の賛成で決定される

問8 国家権力の集中を防ぐ「三権分立」の仕組みにおいて、司法権を担う裁判所が立法権を担う国会に対して行う「抑制（チェック）」の働きとして、正しいものはどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)

1. 不適切な行為をした裁判官を辞めさせるための弾劾裁判を行う。
2. 衆議院の解散を決定し、総選挙の実施を促す。
3. 内閣総理大臣を指名し、行政のトップを決定する。
4. 国会が制定した法律が憲法の内容に違反していないかを審査する。

問9 国会、内閣、裁判所が互いに抑制し合い、権力の集中を防ぐ三権分立の仕組みにおいて、国民が裁判所（司法権）に対して直接的な意思表示を行う権利の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)

1. 不適切な行為をした裁判官を辞めさせるために国会が設置する弾劾裁判。
2. 最高裁判所の裁判官を対象とし、衆議院議員総選挙の際に行われる国民審査。
3. 最高裁判所の裁判官が憲法に違反しているかどうかを判断する違憲審査制。
4. 特定の地方公共団体の住民が、その地域にのみ適用される特別法の是非を問う住民投票。

問10 裁判員制度が適用される裁判の事例として、適切なものはどれですか。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 行政による道路建設の中止を求めて、住民が国や自治体を訴える行政裁判
2. 殺人の疑いで起訴された被告人に対し、その犯罪の有無と刑罰を問う刑事裁判
3. 憲法違反の疑いがある法律について、最高裁判所が最終的な判断を下す憲法裁判
4. 隣人同士の騒音トラブルを解決するために、損害賠償を請求する民事裁判

問11 アメリカ合衆国などで採用されている、国民から選出された大統領が行政の主体となり、立法府である議会から独立して政治を行う仕組みを何と呼びますか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)

1. 議院内閣制
2. 直接民主制
3. 大統領制
4. 絶対王政

問12 最高裁判所以外の裁判所は「下級裁判所」と呼ばれますが、その中の一つである高等裁判所の役割や仕組みについて述べた文として、最も適切なものを選択してください。 (2021年 山口県公立入試 類似)

1. 第一審の判決に不服がある場合に申し立てる「控訴」を受け持ち、主に第二審の裁判を行う。
2. 法律や命令が憲法に違反していないかを最終的に判断する権限を持ち、「憲法の番人」と呼ばれる。
3. 14歳以上20歳未満の少年が起こした事件や、家庭内の紛争を専門的に扱う。
4. 三審制の最後にあたる第三審のみを担当し、判決を確定させる役割を持つ。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 裁判官と共に「評議」を行い、有罪か無罪かの判断だけでなく、有罪の場合の具体的な刑罰の内容まで決定する。	裁判員制度は、国民が司法に参加することで、裁判への理解と信頼を深めることを目的としています。対象となるのは重大な刑事裁判であり、選ばれた裁判員は裁判官と共に「評議」と呼ばれる話し合いに参加し、有罪無罪の判断と量刑（刑罰の内容）の両方を決定します。民事裁判は対象外であることや、不起訴処分の審査を行うのは「検察審査会」であることとの区別が重要です。
問2	答え 2 両院協議会	衆議院と参議院で異なる議決がなされた際に、両院から選出された委員が話し合い、意見の不一致を解消するために開かれる会議です。予算、条約、内閣総理大臣の指名の3点については、議決が一致しない場合に必ず開催しなければならないと憲法で定められています。
問3	答え 4 一切の法律、命令、規則、処分が憲法に適合するかどうかを決定する、終審裁判所としての権限を持っている。	日本の違憲審査制は、具体的な訴訟事件を前提として、その解決に必要な範囲で憲法違反かどうかを判断する仕組みです。最高裁判所は、法律や命令が憲法に適合するかを判断する最終的な決定権を持つ機関であり、これにより憲法の最高法規性を保障し、国民の基本的人権を守る役割を果たしています。
問4	答え 2 国会による立法以外の方法では、原則として法律を制定することができないという原則。	「唯一の立法機関」という規定には、国会以外の機関が立法を行うことを認めない「国会中心立法の原則」と、国会以外の機関の関与を必要とせず法律を成立させる「国会単独立法の原則」が含まれます。例外として、地方公共団体のみに適用される「地方自治特別法」の制定には住民投票が必要ですが、原則として立法権は国民の代表である国会に独占されています。
問5	答え 2 裁判の審理を慎重に行うことで、事実の誤認や法の適用の誤りを防ぎ、人権を保障するため	三審制は、裁判所も人間が運営するものである以上、判断を誤る（誤判）可能性があるという前提に立っています。特に裁判の結果は個人の権利や自由、時には生命に重大な影響を及ぼすため、複数の裁判所が段階的に異なる視点から審理を重ねることで、公平で公正な判断を導き出し、憲法が保障する基本的人権を守る役割を果たしています。
問6	答え 3 議長から付託された法律案を、まず委員会で専門的に審議し、その結果をもとに本会議で採決する。	日本の国会では、各議院（衆議院・参議院）において、本会議での採決の前に委員会での専門的な審査を経る必要があります。委員会で法案の問題点や修正点を十分に議論し、その委員会での審査報告を受けてから、最終的に本会議で議院としての意思決定（採決）が行われます。
問7	答え 1 内閣総理大臣と国務大臣による合議体であり、慣習として全員一致で決定される	内閣は「合議制」の機関であり、内閣法に基づき内閣総理大臣が主宰します。閣議における意思決定は、内閣が国会に対して「連帯して責任を負う」という憲法の原則を守るため、一部の多数決ではなく、すべての出席大臣が同意する全員一致の形式をとることが慣習となっています。
問8	答え 4 国会が制定した法律が憲法の内容に違反していないかを審査する。	三権分立では、立法・行政・司法の三つの機関が互いに権力をチェックし合っています。裁判所が法律の審査を行うことは、立法権に対する重要な抑制手段です。なお、選択肢にある「弾劾裁判」は国会が裁判所に対して行うチェックであり、「内閣総理大臣の指名」は国会が内閣に対して行うチェック、「衆議院の解散」は内閣が国会に対して行うチェックに該当します。
問9	答え 2 最高裁判所の裁判官を対象とし、衆議院議員総選挙の際に行われる国民審査。	三権分立の構造において、国民から裁判所へ向かう監視の役割を果たすのが国民審査です。これは下級裁判所の裁判官は対象にならず、最高裁判所の裁判官のみを対象とした制度です。国会議員を選ぶ衆議院議員総選挙と同じタイミングで実施することで、国民が司法の最高責任者たちの適格性を定期的に確認できるようになっています。
問10	答え 2 殺人の疑いで起訴された被告人に対し、その犯罪の有無と刑罰を問う刑事裁判	裁判員制度が対象とするのは、殺人罪や強盗致死傷罪など、国民の関心が非常に高く社会に大きな影響を与える特定の重大な刑事裁判に限られます。民事裁判や行政裁判、あるいは憲法判断のみを争う裁判などは対象外であり、これらの制度的な違いを理解しておくことが重要です。
問11	答え 3 大統領制	この政治のしくみは、三権分立を徹底するために行政の長（大統領）と立法府（議会）を別々に選出することが最大の特徴です。国民の投票によって選ばれる（実質的には選挙人を通じるが国民の意思が反映される）ため、行政の主体である大統領は議会に対して直接の責任を負わず、強いリーダーシップを発揮することが期待されています。
問12	答え 1 第一審の判決に不服がある場合に申し立てる「控訴」を受け持ち、主に第二審の裁判を行う。	日本の裁判所構成は、最高裁判所を頂点として、その下に高等裁判所、地方裁判所、家庭裁判所、簡易裁判所が置かれています。高等裁判所は、地方裁判所・家庭裁判所・簡易裁判所が行った第一審の判決に対する不服申し立てである「控訴」を扱う、第二審の裁判所として機能しています。不服申し立てがさらに続く場合は、第三審として最高裁判所へ「上告」することになります。